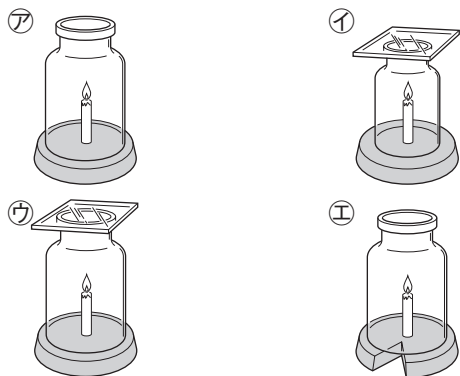


1 ものの燃え方

クラス 氏名

得点 / 100

1 下の図は、底と口のあいたびんを使って、いろいろな方法でろうそくを燃やしたときの様子です。次の問いに答えなさい。ただし、①は、ほかに比べて小さいびんを使いました。



1 (10点×5 = 50点)

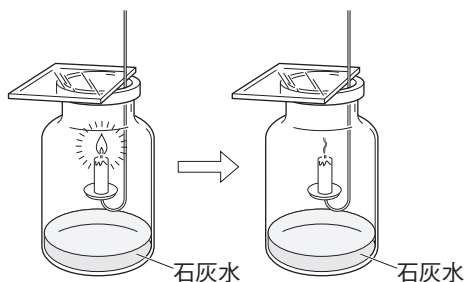
(1)	
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	

- (1) 図の①と④では、どちらのろうそくの火が早く消えますか。記号で答えなさい。
- (2) 図の①と⑤では、どちらのろうそくの火が早く消えますか。記号で答えなさい。
- (3) 図の②と④では、どちらのろうそくの火が早く消えますか。記号で答えなさい。
- (4) (3)の結果になるのは、びんの中のある気体の量がちがうからです。ある気体とは何ですか。答えなさい。
- (5) ろうそくの火が最も長く燃え続けるものを、図の①～⑤から1つ選び、記号で答えなさい。

2 下の図のように、石灰水せっかいすいを入れたびんに火のついたろうそくを入れ、ふたをしました。次の問いに答えなさい。

2 (10点×5 = 50点)

- (1) ろうそくを入れる前のびんにふくまれているおもな気体を2つ答えなさい。



- (2) ろうそくを入れてふたをし、しばらくするとろうそくの火が消えました。このとき使われた気体は何ですか。
- (3) 火が消えたあと、ろうそくをとり出してびんをふると、石灰水はどのようになりますか。
- (4) 石灰水が(3)のようになるのは、ろうそくを入れる前に比べて、何という気体わりあいが増えたからですか。
- (5) 気体の割合を調べるため、気体採取器とともに使う器具を何といますか。

(1)	-----
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	

((1)はすべてできて10点)